

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 7

平成 20 年 4 月 1 日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口 194

TEL 0244-23-6421

URL [http://www.city.](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

[minamisoma.lg.jp](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

南相馬市博物館 特別展

南相馬市の武家文化 指定文化財から

4月19日(土)~5月18日(日)

平成 18 年 1 月 1 日、旧原町市・旧小高町・旧鹿島町の 1 市 2 町が合併し、南相馬市が誕生しました。これにより、国・県・市指定の文化財を合わせると計 137 件（国指定文化財 9 件・国認定重要美術品 1 件・県指定文化財 20 件・市指定文化財 107 件）となり、県内でも有数の文化財のまちになりました。

当市は、鎌倉時代以降相馬氏が治めた地域で、相馬氏を中心とした武家に係る文化財も多く現存し、相馬野馬追という、武家文化を受け継ぐ行事（国指定重要無形民俗文化財）が伝承されていることもあって、人々の武家に対する関心・意識が高い地域でもあります。

ここでは、国・県・市で指定されてきた文化財のうち、南相馬市の武家に係る文化財から「武家からみた南相馬市の地域性」を振りかえりたいと思います。

観覧料	一般	300円	(250円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※ ○ 内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です。



©福島県立博物館

大名婚礼調度品 同慶寺所蔵
(福島県指定重要文化財[工芸])



大悲山文書 相馬胤道氏所蔵
(福島県指定重要文化財[書跡])

民話の世界

ふるさとの民話を聞いてみませんか

5月11日(日) 10:30~12:00

旧武山家住宅(原町区北原・北原踏切西側)



昨年 10 月の「民話の世界」

教育委員会では毎年 5 月と 10 月に国指定重要文化財の旧武山家住宅の一般公開を行っています。旧武山家住宅は、江戸時代に建てられた、農村に住んだ武士の家として貴重な建物です。

博物館では公開にあわせて民話の語りを行っています。民話語りの公開を通じて、地域に伝わる伝説や昔話を掘りおこし、伝統的な文化の保存と伝承につなげることを目指しています。あなたも古民家の囲炉裏端で、ふるさとの民話を聞いてみませんか。

鹿島歴史民俗資料館の 常設展示

これまでの資料館は、1階が歴史民俗資料の常設展示、2階が企画展用の特別展示室として使用してきましたが、4月からは、鹿島区の特性を活かし、2階展示室は、化石を中心とした常設展示として公開します。

南相馬市が誇る「化石」という貴重な財産を通じて、46億年の地球の移り変わり、そしてこれからの地球のことを考えていただければ幸いです。また、1階の常設展示も、さらにわかりやすく、充実した展示を目指します。

2階展示室が、化石を中心とした常設展示になります。



鹿島歴史民俗資料館の、1階展示室（写真上）と2階展示室（写真下）

南相馬市博物館より

常設展示室
ミニテーマコーナー

そうまのお金

4月1日(火)～6月29日(日)

これまで、わが国ではいろいろなお金が発行されています。奥州中村藩でも、明治2年(1869)12月発行の藩札(藩で発行したお金)があります。

今回、この藩札のほか、仙台藩の藩札や江戸時代のお金、さらに、近代から現代にかけて日本で発行されたいろいろな貨幣・紙幣を展示し、わたしたちの生活にかかせないお金の歴史について紹介します。



奥州中村藩の藩札(両面) 個人蔵

野馬追資料特別陳列

会場 特別展示室 7月5日(土)～7月25日(金)

相馬野馬追の時期にあわせ、野馬追の歴史をしめす^{えまきもの}絵巻物・^{はんが}版画などの絵画資料や、野馬追には欠かせない武器武具類、ちょっと懐かしい^{なつ}野馬追グッズにいたるまで、普段公開されていない博物館収蔵資料をはじめ、野馬追関連の諸資料を紹介します。



明治時代の野馬追のようす(絵はがき)

個人蔵

南相馬市博物館・杉並区立郷土博物館共催展

杉並文学館 -井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士-

5月31日(土)~6月29日(日)

現在の杉並区は新宿から電車で15分という、まさに大都市東京の一部となっていますが、戦前まではまだ武蔵野の面影を残す東京の郊外でした。そんなのどかな村が、農村からまちへと変貌する頃、杉並へ移り住んだ人々のなかに、篤く文学を語る一群の若者たちがいました。

彼らは阿佐ヶ谷駅(現JR)前の中華料理店の離れを借りて将棋を指し、その後、酒盃を傾けながら文学を、芸術をそして人生を語り合ったのでした。そのなかの中心人物は「山椒魚」^{さんしょうお}「黒い雨」などで有名な井伏鱒二でした。

この集まりは「阿佐ヶ谷会」といわれ、戦争を挟んで昭和四十年代まで続きました。そのメンバーには青柳瑞穂、上林暁、外村繁、太宰治など中央線沿線の若き、そして後には昭和文学を創り、支える著名な作家たちがいました。

杉並に住んだこれらの文士と、昭和文学を築いた綺羅星のような作家たちを、一味変わった文学展示でご紹介します。



「飲酒の図」井伏鱒二画



井伏鱒二愛用の釣竿

観覧料 一般 300円(250円) 高校生 200円(150円) 小中学生 100円(80円)

※()内は団体料金 市内に居住・通学する小中高生は無料です。

期間中に展示解説会を開催予定です。詳細はポスター等をご覧ください。

展示資料紹介

春に卵を産む

カエル・サンショウウオ

5月6日(火)まで

春になり、市内の野山ではカタクリやスミレの仲間が咲き、にぎやかな鳥たちの声も聞こえるようになってきました。この季節、水辺ではカエルやサンショウウオなどの両生類が産卵をしています。今回、常設展示室の一角に、それらの両生類の展示コーナーを設置しました。ぜひご覧ください。



タゴガエル (アカガエル科)



アスマヒキガエル (ヒキガエル科)



トウホクサンショウウオの卵



トウホクサンショウウオ (サンショウウオ科)

南相馬市博物館の催し物

4月～7月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
4月27日(日)	体験学習 「機織りとむしろ織り」	10:00～12:00 定員 20名 講師 機織り:境司氏、鈴木ミドリ氏 むしろ織り:大谷正氏 織物の歴史と技術を学び、簡単な織機でコースターを作ります。
5月3日(土)	博物館講座 「モリアオガエル」	13:30～15:30 定員 50名 講師 稲葉修学芸員 市内に生息するモリアオガエルの特徴や生態について、標本やスライドで紹介します。
5月11日(日)	民話の世界	10:30～12:00 語り部 菅野清二氏、渡部弘氏、和泉ひで子氏、安部あきこ氏 会場:旧武山家住宅(原町区北原字大塚) 古民家のいろりばたで、ふるさとの民話を聞きます。
5月17日(土)	博物館講座 「相馬の武士①-在郷給人」	13:30～15:30 定員 50名 講師 水久保克英主任学芸員 江戸時代の奥州中村藩の身分制度の特徴である、村に住んでいた武士「在郷給人(ざいごうきゅうにん)」について、その概要を紹介します。
5月24日(土)	市内史跡めぐり	9:00～12:00 定員 22名 講師 当館学芸員 市内の史跡や、神社仏閣をめぐり、南相馬市の歴史について学びます。
5月25日(日)	体験学習 「化石採集」	13:30～15:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 南相馬市内に分布する地層から、化石を採集します。【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋
6月8日(日)	体験学習 「南相馬のたんぼ① 初夏のたんぼで 生き物をさがそう!!」	9:00～12:00 定員 20名(小学校3年生以下は保護者同伴) 講師 伊賀和子氏(福島県植物研究会) 大亀清壽氏(鱒族協議会) 大槻晃太氏(福島二ホンザルの会) 三田村敏正氏(福島昆虫ファウナ調査グループ) 初夏のたんぼで草花、虫、小動物を観察します。 【持ち物】帽子、長靴、水とう(以下はもっている人) ルーペ、図鑑、アミ、虫かご
6月15日(日)	博物館講座 「奥州中村藩の知行宛行状について」	13:30～15:30 定員 50名 講師 藤原一良氏(原町市史編さん専門研究委員) 江戸時代、藩発給の家中宛・在郷給人郷土宛のいろいろな知行宛行状を紹介します。
6月21日(土)	博物館講座 文化財ビデオ上映会 「南相馬の炭焼き」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二本松文雄主査 南相馬市や周辺地域の炭焼きの歴史と、炭窯作りの技術を紹介します。
6月28日(土)	博物館講座 「相馬の歴史-野馬追を中心として」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二上裕嗣氏(相馬野馬追保存専門委員会 副委員長) 野馬追の歴史を中心とした、相馬地方の歴史について紹介します。
7月5日(土)	体験学習 「甲冑の着装」	10:00～12:00 定員 20名 講師 二上裕嗣氏(相馬野馬追保存専門委員会 副委員長)ほか 野馬追で使われる甲冑の着装の仕方を学びます。
7月19日(土)	博物館講座 「野馬追意外史④」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二上文彦学芸員 知っているようで意外と知らない、野馬追の歴史を紹介します。

初心者のための古文書解説講座(月1回開催)

4月6日・5月11日・6月1日・7月6日

今年度は、戦国時代の相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

13:30～15:30 定員 20名

【持ち物】原稿用紙・筆記用具

※通常毎月第1日曜日開催(変更の場合あり)平成20年5月(第2回)は第2日曜日



甲冑の仕組みや着装方法を学びましょう
「甲冑の着装」



織物の歴史と技術を学びましょう
「機織りとむしろ織り」

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 TEL: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2334 鹿島区西町三丁目1 TEL: 0244-46-4281 FAX: TELと同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45 休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料